

令和6年12月6日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R6国道18号千曲市杭瀬下交差点外工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R6国道18号千曲市杭瀬下交差点外工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R6国道18号千曲市杭瀬下交差点外工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 難工事指定
3. 間接工事費実績変更方式
4. 余裕期間制度（フレックス方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 飯田市役所記者クラブ 塩尻桔梗ヶ原記者クラブ
長野県庁会見場・長野市政記者クラブ・長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話:026-264-7001（代表） メールアドレス:ktr-nagano-koho@gxb.mlit.go.jp

副所長 岡田（おかだ）（内線：205）

保全対策官 寺島（てらしま）（内線：406）

《工事概要》

- (1) 工事名：R6国道18号千曲市杭瀬下交差点外工事
- (2) 工事場所：長野県千曲市杭瀬下地先 外1箇所
ながのけんちくましきくせいせげ
- (3) 工期：全体工期 契約締結の翌日から令和7年9月30日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：アスファルト舗装 A等級又はB等級
- (6) 工事内容（概要）：【杭瀬下工区】

道路土工	1式
車道舗装工	約320㎡
アスファルト舗装工 基層	約920㎡
アスファルト舗装工 中間層	約1300㎡
路面切削工	約890㎡
オーバーレイ工	約2,240㎡
歩道舗装工	約460㎡
側溝工	約220m
集水桝工	9箇所
縁石工	約180m
区画線工	1式
構造物撤去工	1式
防護施設工	1式

【内川工区】

切削オーバーレイ工	約1,600㎡
区画線工	1式

■工事概要図



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道18号での作業となり、夜間の片側交互通行規制を行いながら車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評価を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

3. 間接工事費実績変更方式

○実績により変更を行う工種

・ 共通仮設費（率分）のうち、「運搬費」、「安全費」

○実績により変更を行う理由

工事箇所は、沿道に民家が近接し、施工ヤードも現道を規制しながらの狭小な箇所です。運搬費について、市街地における交通量が多い片側1車線の現道上の工事のため、資機材置き場の確保が困難であり、基地から日々回送が必要となることが想定されます。

また、安全費について、交通量が多い現道上の工事であり、また、人口密集地域のため、協議等により、標示板、保安灯等安全施設類に要する費用が多くなることが想定されます。

以上により、「運搬費」、「安全費」について、間接工事費実績変更方式を試行します。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和7年9月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

5. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、杭瀬下工区、内川工区とし、詳細は下図の通りです。



《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和 6年12月 6日 (金)
○技術資料等の提出期限	: 令和 6年12月17日 (火)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	: 令和 7年 1月27日 (月)
○開札日	: 令和 7年 1月30日 (木)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

